

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月30日

上場会社名 メタウォーター株式会社
 コード番号 9551 URL <http://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画室長 (氏名) 中川 雅幸
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6853-7317

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	11,582	13.5	△2,316	—	△2,096	—	△1,486	—
2018年3月期第1四半期	10,202	△9.1	△2,822	—	△2,823	—	△1,995	—

(注)包括利益 2019年3月期第1四半期 △2,244百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △2,304百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△57.34	—
2018年3月期第1四半期	△76.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	116,026	52,045	44.7
2018年3月期	122,991	55,042	44.6

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 51,901百万円 2018年3月期 54,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	31.00	—	31.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	8.2	7,000	3.8	6,900	6.7	4,700	19.6	181.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	25,923,500 株	2018年3月期	25,923,500 株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	91 株	2018年3月期	91 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	25,923,409 株	2018年3月期1Q	25,923,456 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(日付の表示方法の変更)

当連結会計年度より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、政府の経済政策や金融政策により、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。また、世界の経済状況は、中国経済の減速や米中の貿易摩擦懸念などによる先行き不透明感があるものの、総じて底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループは設立10年を機に、当社グループを取り巻く環境や当社グループ自体の変化等を踏まえ、企業理念を見直すとともに、2020年度を最終年度とする3事業年度の「中期経営計画2020」を策定し、その達成に向けて「①戦略開発投資」「②事業戦略（基盤分野の強化と成長分野の拡大）」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は115億82百万円（前年同期比13.5%増）、営業損失は23億16百万円（前年同期は営業損失28億22百万円）、経常損失は20億96百万円（前年同期は経常損失28億23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は14億86百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失19億95百万円）となりました。また、受注高は253億61百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC(注1)事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注2)事業及び成長分野と位置付けるPPP(注3)事業が区分されております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業においては、海外事業が低調に推移したものの、EPC事業が順調に推移したことにより、売上高は76億68百万円（前年同期比13.9%増）、営業損失は12億80百万円（前年同期は営業損失18億4百万円）となりました。また、受注高は79億36百万円（前年同期比37.1%減）となりました。

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業においては、O&M事業及びPPP事業共に順調に推移したことにより、売上高は39億14百万円（前年同期比12.8%増）となりましたが、案件構成の違いにより営業損失は10億35百万円（前年同期は営業損失10億18百万円）となりました。また、受注高は174億24百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

- (注) 1. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設
 2. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理
 3. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ69億65百万円減少し、1,160億26百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ63億2百万円減少し、990億98百万円となりました。

固定資産は、のれんが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億62百万円減少し、169億28百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ37億77百万円減少し、452億65百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億91百万円減少し、187億15百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ29億97百万円減少し、520億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績につきましては、2018年4月25日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,805	52,107
受取手形及び売掛金	72,164	34,427
仕掛品	2,623	7,014
貯蔵品	3,299	3,226
その他	1,508	2,321
流動資産合計	105,401	99,098
固定資産		
有形固定資産	2,982	2,894
無形固定資産		
のれん	1,842	1,699
顧客関連資産	2,769	2,942
その他	2,447	1,849
無形固定資産合計	7,060	6,491
投資その他の資産	7,548	7,542
固定資産合計	17,590	16,928
資産合計	122,991	116,026

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,372	5,289
電子記録債務	8,155	13,228
短期借入金	269	705
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	833	838
未払法人税等	2,173	121
前受金	10,719	18,670
完成工事補償引当金	857	766
受注工事損失引当金	204	199
その他	7,456	5,446
流動負債合計	49,042	45,265
固定負債		
長期借入金	2,050	2,118
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	11,549	11,178
退職給付に係る負債	5,294	5,294
その他	11	123
固定負債合計	18,906	18,715
負債合計	67,949	63,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	30,214	27,976
自己株式	△0	△0
株主資本合計	57,241	55,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	58
為替換算調整勘定	84	△800
退職給付に係る調整累計額	△2,474	△2,360
その他の包括利益累計額合計	△2,335	△3,102
非支配株主持分	136	144
純資産合計	55,042	52,045
負債純資産合計	122,991	116,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	10,202	11,582
売上原価	9,231	10,186
売上総利益	970	1,395
販売費及び一般管理費	3,793	3,711
営業損失(△)	△2,822	△2,316
営業外収益		
受取利息	49	46
受取配当金	32	51
為替差益	—	176
その他	1	0
営業外収益合計	83	275
営業外費用		
支払利息	55	54
固定資産処分損	18	1
為替差損	11	—
その他	0	0
営業外費用合計	85	55
経常損失(△)	△2,823	△2,096
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,823	△2,096
法人税等	△833	△619
四半期純損失(△)	△1,990	△1,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	9
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,995	△1,486

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,990	△1,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	4
為替換算調整勘定	△434	△884
退職給付に係る調整額	120	113
その他の包括利益合計	△314	△766
四半期包括利益	△2,304	△2,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,309	△2,253
非支配株主に係る四半期包括利益	4	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,732	3,470	10,202	—	10,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,732	3,470	10,202	—	10,202
セグメント損失(△)	△1,804	△1,018	△2,822	—	△2,822

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,668	3,914	11,582	—	11,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,668	3,914	11,582	—	11,582
セグメント損失(△)	△1,280	△1,035	△2,316	—	△2,316

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。